

(参考)令和2年度第1回徳島県農林水産審議会における意見の概要

基本戦略 I	現計画の該当箇所	キーワード	意見の概要	委員名
	I	担い手	人材の確保に向けた、一定期間の就労を組み合わせ年間 のサイクルを回す派遣型就労システムの構築	井上委員
	I	担い手 全般	より良い情報を必要とすべき人々に迅速に届ける、組織的 な情報伝達手法の構築	井上委員
	I	担い手 全般	コロナ対策の補助金をはじめ、各種支援制度の情報提供 や事務手続きの簡素化	井上委員
	I	担い手	農家離れ(特に小規模農家)の現状を踏まえた対策	遠藤委員
	I・V	担い手 都市農村交流 地方回帰	コロナの影響で休職となった人が農林水産業に目を向ける 機会になるような施策(人材不足の解消)	木元委員
	I	担い手	林業技術者不足の現状を解決するため、まず林業が職業 の選択肢に入るための対策	徳田委員
	I	担い手	コロナの影響で木材価格が低下し、離職者の増加や担い 手不足が懸念されるので、その対策	久岡委員
	I	担い手	漁業アカデミーの受講生が減少傾向にあり、対策が必要	岡委員
	I・II	担い手 生産振興	漁業法改正への対応(新たな資源管理の導入、漁協や漁 業者が取り組む経営改善や合理化、組織統合に関する支 援)	島田吉久委員
	I	担い手	他の地域で成功した漁業方法や新たな漁業方法の共有、 技術の向上を目的とした勉強会、リカレント教育の実施	野口委員
	I	担い手	漁業を引退した方などの仕掛けや道具を新たな担い手に 引き継げるようにしてほしい	野口委員
	I	担い手	漁業アカデミーの取組が成功するよう広報を強化	野口委員
	I	担い手	多くの漁の業種の選択ができるよう、師匠をやっていただ ける方の説得をお願いしたい	野口委員
	I	担い手	給付金制度が逆に足かせになってはいないか。新規就業者 の定着率アップのため、不安を取り除く対策を	森本委員

基本戦略Ⅱ	該当箇所	キーワード	意見の概要	委員
	Ⅱ・Ⅲ	生産振興 販売力強化	コロナの影響で主流となったSNS及びリモート技術の習得支援(セミナーの開催等)	井上委員
	Ⅱ	食育	糖尿病死亡率ワースト1位という現状を打開するため、野菜ソムリエコミュニティとの意見交換会の開催	井上委員
	Ⅰ・Ⅱ	担い手 生産振興	営農継続へのサポートの充実(トレーニングファーム制度、ベテラン農家による技術指導)	木元委員
	Ⅱ	生産振興 基盤整備	生産拡大に向けた支援の強化(すだち園地の造成や施設園芸のハウス等ハード面での支援拡充)	長江委員
	Ⅱ	生産体制 危機管理	有事の際の農林水産物の生産供給体制の構築	長江委員
	Ⅱ	生産振興	食料自給率を上げていくための、飼料米の増産と安定生産・安定供給	山根委員
	Ⅱ	生産振興 安全安心	家畜伝染病対策の講習会等の実施(オンライン等を含む)	山根委員
	Ⅱ・Ⅲ	生産振興	漁業者(魚が獲れない、単価が下がっている)と消費者(価格が高い)の意識に乖離がある	大城委員
	Ⅱ	生産振興 研究	ノリの色落ちや生産量低下の対策として、効果的な取組を進めて行く必要がある	岡委員
	Ⅱ	食育	10年後の徳島を支える子供に対し、食育を重要な学習のテーマとして推進(徳大と無印がコラボした食用コオロギを使ったお菓子の販売などは、身近な教材になる。)	武田委員
	Ⅱ	生産体制 危機管理	食料不足に対する危機意識の共有が必要。生産体制の見直しや食料確保対策など、有事の際の生産供給体制の整備	武田委員
	Ⅱ	生産振興	皮が厚く酢がたっぷり出るすだちの品種を増やしてほしい	長久委員
	Ⅱ	スマート 研究 産学官連携	徳島大学バイオイノベーション研究所を活用した産学官の共同研究や商品開発	長宗委員

基本戦略Ⅲ	該当箇所	キーワード	意見の概要	委員
	Ⅲ	販売力強化	ターンテーブルについて、東京だけでなく日本全国に本県農林水産物の魅力を発信するアンテナショップとしての機能の発揮	長江委員
	Ⅲ	生産振興 販売力強化 研究 産学官連携	県産スギの高付加価値化、安全・安心で高品質な徳島ブランドを広く発信	島田めぐみ委員
	Ⅲ	林業全般 消費者	川下にも目を向けて対策を進めていく必要がある	徳田委員
	Ⅲ	林業全般 消費者	川上から川下まで一括した事業体系に取り組んでいる(丸太生産から住宅建築まで消費者が参加し、意見を取り入れる)	徳田委員
	Ⅲ	販売力強化	コロナ禍におけるテイクアウト商品の開発やインターネット販売等の取組への支援	大地委員
	Ⅲ	販売力強化	コロナの影響で価格が下がっている時に消費者に試してもらうことで、今後につながる取組	和田委員
	Ⅲ	販売力強化 研究 産学官連携	魚の規格の統一やブランディングに向けた取り組み(例えば何グラム以上のアオリイカはおいしい等、科学的証拠を得るなどしたブランディング)	和田委員
	Ⅲ	販売力強化 安全安心 輸出	市場規模は自由自在にならない。販路拡大のためには、安全安心に、できるだけフリーに輸出ができるようになる必要がある	森本委員
	Ⅲ	消費者	30kgの玄米の袋が重いので、消費者目線で、10kgなど小分けの袋も設けてほしい	長久委員
	Ⅲ	販売力強化	コロナの影響により、地方にいてもPRできる。地方が持つ、安心感や安定供給への信頼度の利点を生かせる施策	市岡委員
	Ⅲ	販売力強化	コロナ禍で、生産者と消費者が直接繋がりがしやすい状況、それぞれが販売チャネルの開拓に力を入れ、販売チャネルをバランス良く持てるような支援	市岡委員
	Ⅲ	販売力強化	リモートなどをいち早く取り入れられる施策の推進(一生産者ではできないような手法、素材やweb動画の作成など)	市岡委員
	Ⅲ	販売力強化	古事記で農業の神様とされる「オオゲツヒメ」を本県の農林水産物のブランド化や販売促進対策へ活用	長宗委員

基本戦略Ⅳ	該当箇所	キーワード	意見の概要	委員
	Ⅱ・Ⅳ	担い手 生産振興 基盤整備	林道の整備推進(森林の整備、人手不足の解消、増産等すべてに繋がる)	榊野委員
	Ⅳ	生産基盤	造林作業の負担を減らすため、林道や作業道の整備、道路や河川での資材置き場の確保	久岡委員
	Ⅱ・Ⅳ	基盤整備 環境	魚が育つ自然環境、養浜づくり(自然災害への備えも大事だが、公共事業課と連携を図りながら、自然環境の保全にも努めてほしい)	大城委員
	Ⅱ・Ⅳ	生産振興 研究 生産基盤	中層型浮魚礁の増設や藻類の色落ちに対する具体的な施策の実施	島田吉久委員
	Ⅳ	農地活用	1人当たりの耕作面積を増やすため、耕作放棄地等の公開(農地の有効活用が可能になるのではないか)	森本委員
基本戦略Ⅴ	該当箇所	キーワード	意見の概要	委員
	Ⅰ・Ⅴ	担い手 地方回帰	コロナの影響で社会が変容、移住して農林水産業を始める人の定着に向けた取組	島田めぐみ委員
	Ⅳ・Ⅴ	基盤整備 市町村連携	森林環境譲与税の活用が進むよう、市町村に対しての指導・助言	久岡委員
	Ⅴ	気候変動緩和	プラスチックゴミ問題について、環境部局と連携した取組	長久委員
	Ⅴ	気候変動適応	温暖化に適した水産物の販路拡大や高付加価値化の研究など漁業者の収益を上げる取組	岡委員
	Ⅴ	地方回帰	コロナの影響により、自然への回帰、一から自分の手でという需要が高まっている	森本委員
全般	該当箇所	キーワード	意見の概要	委員
	その他	全般	10年後、20年後を見据えた中での次期計画づくり	長江委員